



公明党
なかむら
中村

つとむ
努

ワクチン接種希望者11月までに完了目指す

その他の
質問事項

- ▼ コロナ感染者の郵便投票
- ▼ 公有地の把握と管理

◆ ワクチン接種の見込み
問 高齢者は7月に完了とのことだが、接種券の有効期限と、64歳以下の見込みはどうか。

答 有効期限は記載がないが、令和4年2月を想定している。7月に基礎疾患のある方を対象に接種券を発送し、状況を見ながら64歳以下を開始し、11月末完了を目指す。
(ワクチン接種推進室)

◆ 接種会場への移動手段
問 移動困難者への支援は考えているか。

答 高齢者、障がい者のタクシー利用助成券を4枚追加し、檜川地区の福祉有償運送の利用への補助も行っている。
(ワクチン接種推進室)

◆ Web等の予約支援

問 えんぱーくでのWeb予約支援が好評だ。支所等でできないか。また、支援に資格等は必要か。

答 善意の予約支援に資

格条件はない。施設の利用も通常に行えるが、個人情報を取り扱うため、身分確認などが必要と考える。支所では、Wi-Fi環境がないため難しい。
(ワクチン接種推進室)

◆ 年齢拡大、職域接種

問 12歳以上への拡大や企業での接種の考えは。

答 16歳以下の接種は保護者の同意が必要。情報を提供し、会場を学校か医療機関とするか教育委員会と相談する。職域接種は、企業数や人数の把握はできていない。診療所を所有する企業は2社。商工会議所と連携し必要性を考える。
(ワクチン接種推進室)



えんぱーくのワクチン接種予約支援

檜川義務教育学校の開校を来春に控えて



市民派連合
しのはら
篠原 敏宏

その他の
質問事項

- ▼ 独居高齢者の状況と生活支援対策
- ▼ 奈良井宿官民連携事業について

◆ 開校までの法的手続き
問 令和4年4月開校までの法的手続きは。

答 義務教育学校の設置と木曾檜川小学校、檜川中学校の廃止に関わる条例改正が必要。12月定例会に同改正案を上げたい。可決後、長野県教育委員会に新校の設置と2校の廃止を届け出る。
(教育総務課)

◆ 小規模特認校と通学区について

問 小規模校に他地区から希望者の通学の特例を認める小規模特認校制度導入について、教育委員会における検討と見解は。

答 特認校は、教育委員会が指定することで保護者の申し出があれば通学区外から通学ができる学校選択制度。大規模校より小規模校が適している児童生徒は、自身に合った教育環境を選択でき、学校や地域の活性化にも寄与する。このため通学

区域等に関する規則の改正や小規模特認校に関する要綱の整備が必要になる。学校や地域と情報の共有、連携を図りながら導入に向けた準備を行っていききたい。
(教育総務課)

◆ 「ウッドショック」の市政への影響

問 新型コロナウイルス契機の輸入木材の品薄高騰(ウッドショック)は、木曾檜川小学校大規模改修工事にどの程度影響があるか。

答 多くの木材を使用するので、価格高騰の影響を受けると思われる。工事費用は、価格の上昇分を見込み積算している。
(教育総務課)



義務教育学校への改修を待つ木曾檜川小学校